

令和8年度 審判講習会（競技委員会より）

- 1 安心・安全 information
- 2 暑熱対策について
- 3 その他

1 安心・安全 information

～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

(1) 迷惑撮影の実態と対策

(2) ロードレースにおける助力の認識

1 安心・安全 information
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

☆ 盗撮や性的目的の「迷惑撮影」への対策の強化

○日本陸連（JAAF）や各地方協会が非常に厳しい規制

○トラブルの現状と、実施されている具体的な対策

- 1 安心・安全 information
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

【2025年の現状と主なトラブル】

- アスリートの性的な部位を執拗に狙った撮影
- 赤外線カメラ等を用いた「透過撮影」
- SNSやアダルトサイトへ画像を無断掲載

1 安心・安全 information

～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

○被害の低年齢化

○SNS拡散の深刻化

○撮影スタイルの巧妙化

- 1 安心・安全 information
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

【日本陸連（JAAF）による強力な規制】

○主要大会で具体的な撮影制限（撮影機器の制限）の導入

1 安心・安全 information

～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

【撮影機器の制限】

○一般観客：

一眼レフカメラ、ビデオカメラ、望遠レンズの使用を原則禁止

○使用可能機器：

スマートフォン及びタブレット端末のみ、指定されたエリアでの撮影が許可

○報道・関係者：

事前に申請、専用「ビブス」を着用した者のみが撮影機材を使用

- 1 安心・安全 information
～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

【撮影禁止エリアの設定】

○100mスタート地点の後方や前方:

選手の姿勢が低くなる場所、特定の角度からの撮影が厳しく制限

○跳躍・投てき種目付近:

特定の角度からのズーム撮影を防ぐため、立入制限が設定

1 安心・安全 information

～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

(1) 迷惑撮影の実態と対策

引き続きのお願い事項

○会場整備・啓発活動の徹底

- ・ 大型ビジョンおよび会場アナウンスでの呼びかけ
- ・ 会場内への注意喚起ポスターの掲示
- ・ 大会プログラムへの注意喚起広告の掲載
- ・ スタッフ/審判による会場巡回



1 安心・安全 information

～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

(1) 迷惑撮影の実態と対策

引き続きのお願い事項

○競技運営面の工夫

- ・表彰式での所属ウェアやTシャツ着用の推進
- ・レース後の速やかな誘導と、安全な導線の確保



1 安心・安全 information

～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

(1) 迷惑撮影の実態と対策

引き続きのお願い事項

○地域管轄警察署との連携

- ・警察署名の入った盗撮禁止看板の制作
- ・開催期間中の定期的な会場巡回



1 安心・安全 information

～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

(2) 助力について (ロードレース)

【背景】

特に駅伝競走において、レース中の負傷や疾病により、通常歩行が困難な状況の中で、競技を継続し危険な場面が生まれている。



1 安心・安全 information

～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

(2) 助力について (ロードレース)

【競技規則 (助力に関するルール) の再確認】

- ・ 転倒や意識混濁、疾病等により明らかに通常歩行や競技続行が困難となり、立ち止まりや横臥等の行動を行う競技者に対して、**審判員や公式の医療スタッフが声掛けを行うことは、助力とは見なさない。**
- ・ 本人がなお競技続行の意思を持っていても、競技者の生命・身体保護の観点から**審判長もしくは医師の判断で競技を中止させることができる。**

1 安心・安全 information

～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

(3) 助力について（ロードレース）

【競技規則（助力に関するルール）の再確認】

- ・ 審判員や公式の医療スタッフが一時的に介護するために競技者の身体の一部に触れることは、助力とは見なさない。
- ・ 審判長の権限を技術総務、競走審判員、監察員等に委任しておく必要がある。

1 安心・安全 information

～アスリートが安心して競技に取り組める環境づくりを目指して～

(3) 助力について（ロードレース）

【競技規則（助力に関するルール）の再確認】

- ▶ 競技規則を再確認のうえ、**競技注意事項や申し合わせ事項での周知、および監督会議等でのご説明**をお願いいたします。
- ▶ **医療体制・緊急時の連絡系統の確認および審判会議等での周知徹底に、ご協力**をお願いいたします。
- ▶ **医師を含む医務員を複数名任命し、緊急医療体制（AED配置を含む）整備の上、競技会の開催**をお願いいたします



主催競技会における暑熱対策について（2026年度以降）

公益財団法人日本陸上競技連盟

2025年3月、本連盟理事会において、WBGT31度以上で『運動は原則中止』という日本スポーツ協会のガイドラインに沿って競技会を運営すること、特に、このガイドラインに触れる可能性の高い7月～8月の競技会については、モーニング・イブニングの2部開催、夜開催あるいは涼しい場所での開催など、暑熱回避が明確に認められる場合を除き、「大会は主催しない」こと、また、開催中にWBGTが31度以上になった場合は、「運動は原則中止・中断」とすること方針を掲げた。

※WBGT（湿球黒球温度）：湿度、日射・輻射熱、気温などから計算される暑さの指標

WBGT計測について：<https://www.jaaf.or.jp/files/article/document/22236-0.pdf>

主催競技会における暑熱対策について（2026年度以降）

公益財団法人日本陸上競技連盟

※小学生以下においては特に嚴重な注意のもと判断すること。

※国際競技会およびそれに関連する競技会等については主催団体の運用に応じる。ただし、暑熱環境下が想定される場合には、いかなる競技会においても徹底した暑熱対策を行うこととし、参加選手や関係者が、自身において十分な暑熱対策を講じるよう、十分な周知を行うこと。

主催競技会における暑熱対策について（2026年度以降）

公益財団法人日本陸上競技連盟

※夏の暑熱環境に限らず、熱中症のリスクは1年を通して存在する。地球温暖化の影響により過去と異なる気象環境となっていることや、種目による負荷の大小、身体への負担等を考慮し、競技会の設定、運営および適正な判断を行うこと。

【参考URL】

熱中症予防サイト（環境省）：https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php

陸上安全ナビ：<https://www.jaaf.or.jp/safety-navi/>

2025年度 競技会における暑熱対策について

公益財団法人日本陸上競技連盟

【第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会】

2025年7月25日（金）～29日（火） 広島

○大会運営上の対処

- ・ 競技日程の見直し（長距離種目の時間変更・400mの分散化等）
- ・ 7/22（火）競技日程及び競技方法の変更発表
- ・ 7/24（木）最終競技日程を確定

2025年度 競技会における暑熱対策について

公益財団法人日本陸上競技連盟

【第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会】

2025年7月25日（金）～29日（火） 広島

○役員・医療体制等

- ・ 競技役員の暑熱対策、拘束時間の観点から交代制を導入

- ・ 当初計画

医師:2名、救急救命士:2名、看護師:2名、トレーナー:10名

- ・ 実際の体制

医師:3～4名、救急救命士:2～3名、看護師:4～7名、トレーナー:12～20名

2025年度 競技会における暑熱対策について

公益財団法人日本陸上競技連盟

【第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会】

2025年7月25日（金）～29日（火） 広島

○暑熱対策の具体的な取り組み

- ・ 医務室：アイスバスを設置(リース)
- ・ ゴール付近：簡易アイスバス設置(ビニールプール)
- ・ 氷水入りバケツを用いた散水対応を実施
- ・ 飲料水及び氷ブース設置

2025年度 競技会における暑熱対策について

公益財団法人日本陸上競技連盟

【第52回全日本中学校陸上競技選手権大会】

2025年8月17（日）～20日（水） 沖縄

○大会前の準備について

当初計画の競技日程(案)のホームページ掲載後、熱中症対策のため競技日程の変更が必要となり競技日程変更(案)をアップした。

2025年度 競技会における暑熱対策について

公益財団法人日本陸上競技連盟

【第52回全日本中学校陸上競技選手権大会】

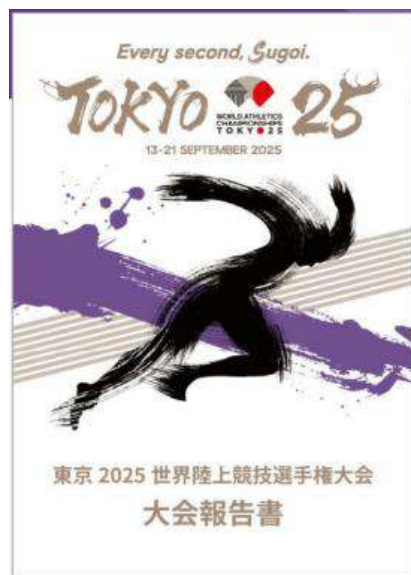
2025年8月17（日）～20日（水） 沖縄

○日程等について

暑熱対策の為、日中の競技会運営を避け、朝夕の2部に分け競技会を行った。

〈東京2025世界陸上 大会報告書〉

本連盟HPに、PDF版を掲載しています。
 300ページ以上にわたって、大会ハイライト、
 準備・運營業務などの総括などを盛り込んでいます。
 その他、サステナビリティレポートなども掲載中。
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1927/>



「JAAF人権ポリシー」「JAAFインテグリティ行動指針」

この秋、日本では2007年大阪大会以来18年ぶりとなる世界陸上競技選手権大会が東京で開催されました。東京での開催は、1991年以来34年ぶりでした。大会は、世界中から多くの人を迎え入れ、相互理解と国際交流の輪を広げる機会になります。この貴重な機会に組織としての「JAAF人権ポリシー」と同ポリシーの考え方の下で主体的に取り組む行動の指針を公表しました。自国で開催される国際競技会を機に、世界の人々と豊かな人権感覚を共有し、より良い社会をめざしたい。2025年8月20日に策定された「JAAF人権ポリシー」と「JAAFインテグリティ行動指針」には、そのような願いがこめられています。

[JAAF人権ポリシー]
の全文はこちら



[JAAFインテグリティ行動指針]
の全文はこちら



自由にダウンロードしていただき、ご活用ください。

令和8年度 審判講習会（競技委員会より）

ご清聴ありがとうございました。